



# 東日暮里幼稚園だより

荒川区立東日暮里幼稚園  
／ 荒川区立第三日暮里小学校併設園  
発行日 令和 3年 6月30日  
発行者 園長 末永 寿宣

## 7月号

## 「10の姿」⑥思考力の芽生え

～自分で考え工夫する力を身につけるには～ 園長 末永 寿宣

今月号は、10の姿の中で「思考力の芽生え」に着目した本園での取り組みについて紹介いたします。子どもたちの思考力の芽生えを見逃さず、自分で考え工夫する力を着実に育むためには、どのようにすればよいでしょうか。

本園では、子どもたちが、身近なものの性質や仕組みなどを感じ取ったり、多様な関わりを遊びの中で楽しんだりすることで、思考力を育てています。それでは、その実践の一端をご紹介します。

### 3歳 もも組

初めて見る水遊びの道具に興味津々です。魚釣りに夢中になったり、水を注ぐと水車がクルクル回る様子を不思議そうに見たり、水鉄砲で的当てをしたりして楽しんでいます。

片付けの時間を伝えると「もっと遊びたかった」と声が聞こえます。水着を着る練習も積み重ねてきたので、水着を着るのが上手になり、濡れた水着も工夫して脱ぐことができるようになりました。

水色のジュースに黄色を混ぜると「緑になった！」と混色に気づいて、不思議がります。全部の色を混ぜると、今度は「黒っぽくなった！」と発見し、色が混ざる不思議さを体験しています。



さらに、赤・青・黄色のクレップ紙を水の中で擦ると水に色が移り、きれいな色のジュースができあがります。

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ります。

直接体験する中で、気づいたり、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになっていきます。



## 4歳 たんぽぽ組



高さのある巧技台の遊具を活用し、登り方を工夫して何度も挑戦します。登ることができると、とてもうれしそうです。広い遊戯室では、たくさん体を動かして遊んでいます。「忍者の修行」として、自分で考えながら、様々な動きをします。氷鬼をするときには、タッチされた友だちの姿を見ると、鬼をかわしながら、助けに行くことを楽しんでいます。

「思考力の芽生え」は、周囲の環境に好奇心をもって積極的に関わることが、第一段階とされています。子どもがよりおもしろくする方法を自ら考えられるように、援助することを日頃から心がけて保育しています。

## 5歳 すみれ組



巧技台の構成遊びでは、前回よりも更に高く、複雑に組んでいます。「こことここ

とを一本橋でつなげたい」「だめだ、入らない」「じゃあ動かそう」「そっちもって！」などと声を掛け合い、様々な調整しながら調整して作り上げます。



幼稚園と同じ建物にある学校図書館を定期的に訪問し、本を見て、借りたい本を自分で一冊選びます。子どもたちの選び方は、絵や写真を見て興味をもったり、「お料理の本が見たい」などと学校司書の先生に相談して教えていただいたりしています。

子どもたちの思考力を育むうえで、私たちが意識すべきことは、年少の頃から身の回りの事象に興味をもてるようにすることや、子どもが他者の異なる意見に触れ、話し合う機会を作ることでしょう。

本園では、子どもたちが自ら考えることができるよう、大人が先回りをしすぎず、個々の発達段階や性格に応じて必要な働きかけをすることを最も大切にしています。これからも「思考の芽生え」を常に意識しながら、日々の保育に力を注いでまいります。